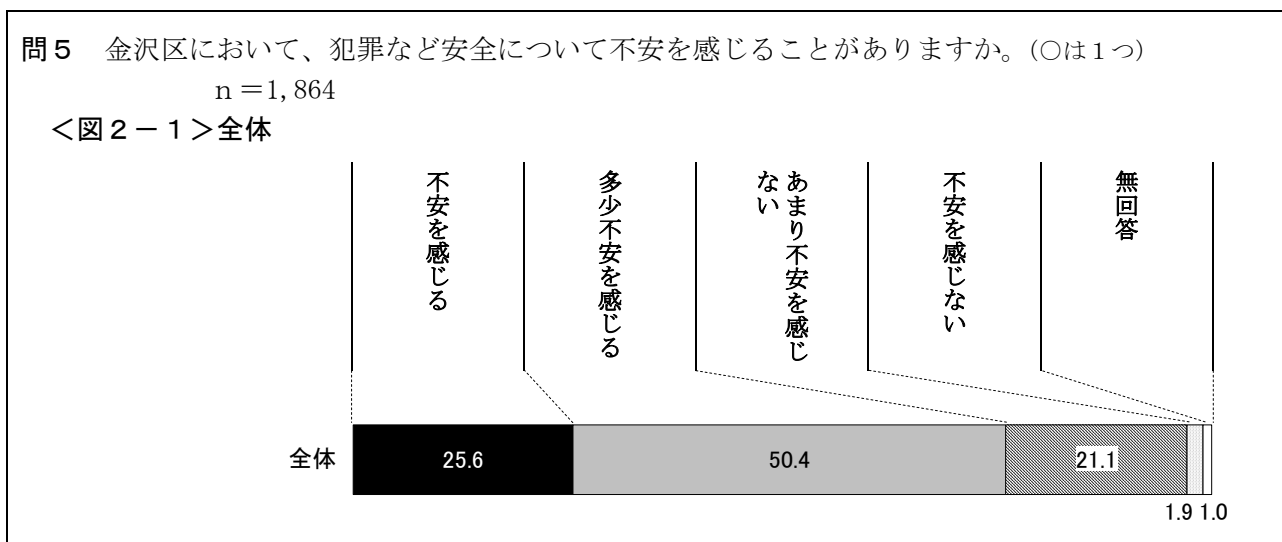


2 防犯

(1) 犯罪など安全への不安感

◇【不安を感じる（計）】は4人に3人、【不安を感じない（計）】は4人に1人



金沢区での犯罪など安全への不安感については、「不安を感じる」(25.6%)は2割台半ば、「多少不安を感じる」(50.4%)が半数で、この2つを合わせた【不安を感じる(計)】(76.0%)は4人に3人となっている。一方、「不安を感じない」(1.9%)と「あまり不安を感じない」(21.1%)を合わせた【不安を感じない(計)】(23.0%)は4人に1人に近い。(図2-1)

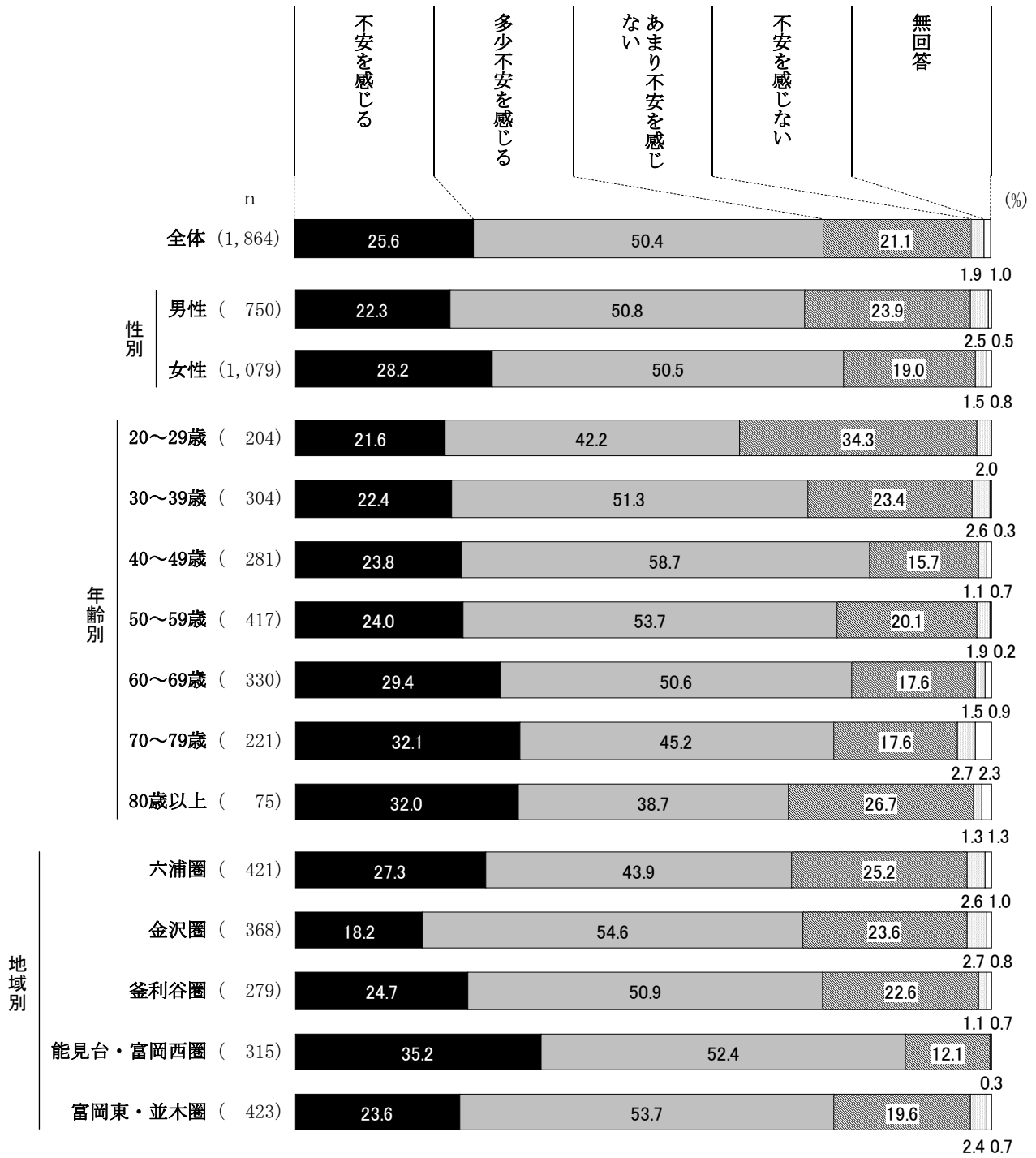
□属性別比較

性別でみると、「不安を感じる」は女性が3割弱で男性を6ポイント上回り、【不安を感じる(計)】でも女性の方が女性の方が6ポイント高くなっている。【不安を感じない(計)】は男性が6ポイント上回っている。

年齢別では、「不安を感じる」は70歳以上で3割を超え、【不安を感じる(計)】は40歳代で8割を超える。【不安を感じない(計)】は20歳代で3割台半ばを超える。

地域別では、「不安を感じる」は能見台・富岡西圏で3割台半ば、【不安を感じる(計)】もこの地域は8割に近い。【不安を感じない(計)】は六浦園で3割弱と比較的高い。(図2-2)

<図 2 - 2> 性別／年齢別／地域別



(1-1) 不安を感じる犯罪

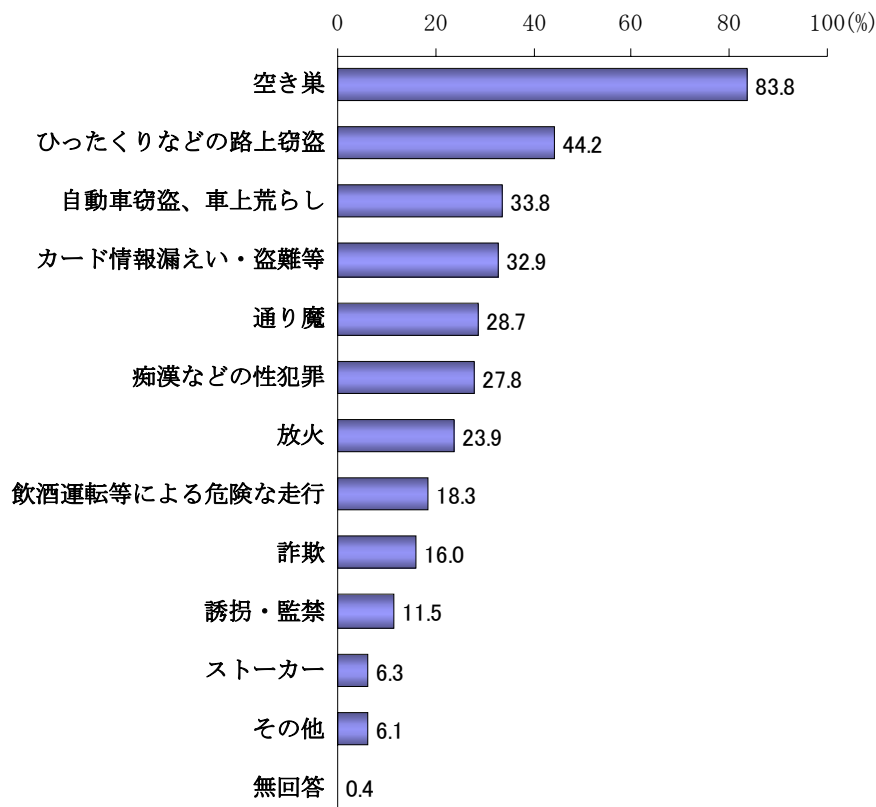
◇「空き巣」が8割台半ば、「ひったくりなどの路上窃盗」が4割台半ば

(問5で「1」か「2」をお答えの方に)

問5-1 あなたは、身近で不安を感じている犯罪は何ですか。(〇はいくつでも)

n=1,417

<図2-3>全体



身近で不安を感じる犯罪としては、「空き巣」(83.8%)が8割強で最も高く、2番目は「ひったくりなどの路上窃盗」(44.2%)が4割台半ばで、これに続く「自動車窃盗、車上荒らし」(33.8%)と「カード情報漏えい・盗難等」(32.9%)の2つが3人に1人となっている。このほかでは、「通り魔」(28.7%)と「痴漢などの性犯罪」(27.8%)の2つが3割に近い。(図2-3)

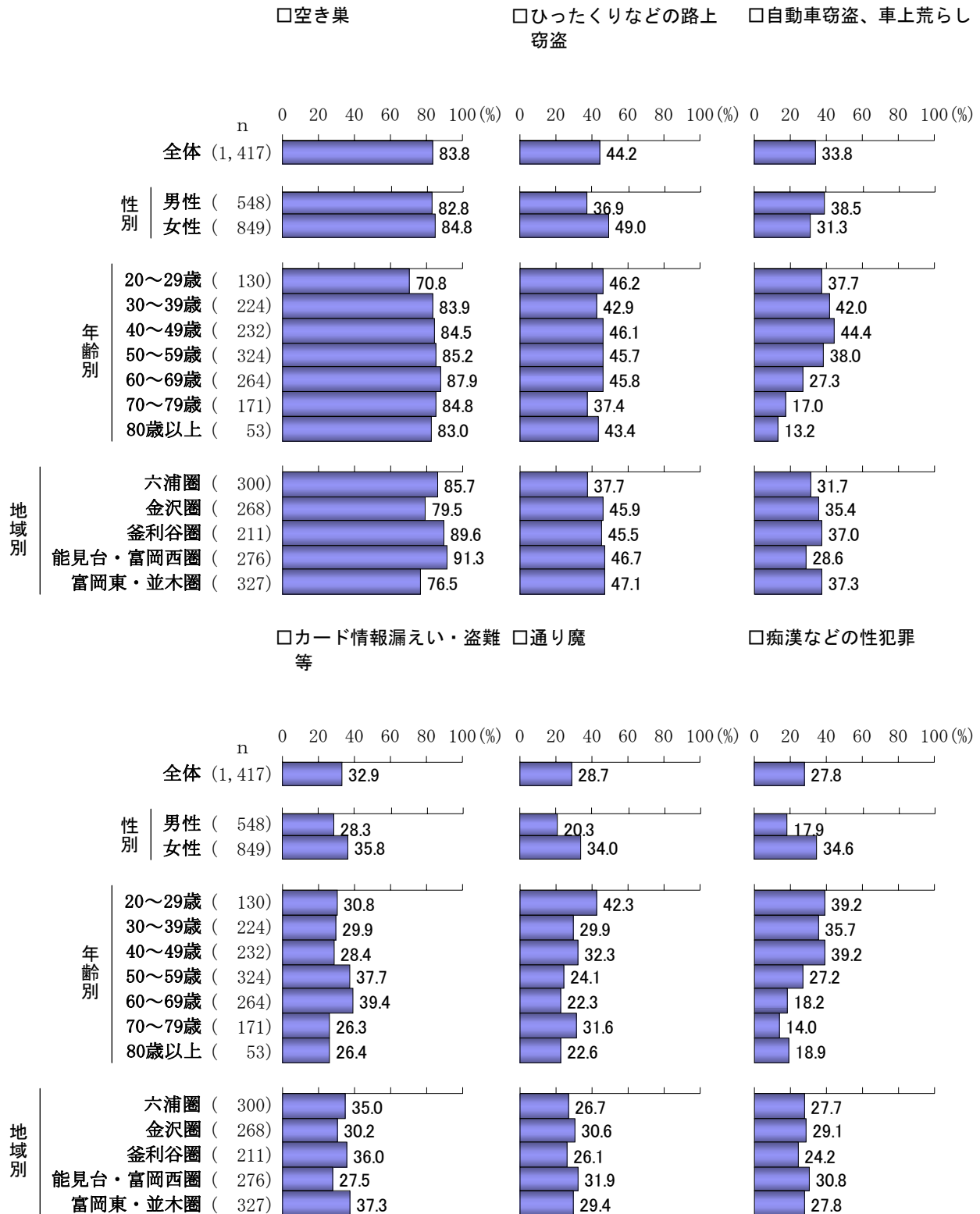
□属性別比較

性別でみると、男性が上回るのは「自動車窃盗、車上荒らし」の7ポイント差だけで、ほかは女性の方が高く、中でも「痴漢などの性犯罪」で17ポイント、「通り魔」で14ポイント、「ひったくりなどの路上窃盗」で12ポイントなど、開きが大きくなっている。

年齢別では、「空き巣」は20歳代で7割のほかはどの年代も8割台半ば前後である。「自動車窃盗、車上荒らし」は30～40歳代で4割を超え、「カード情報漏えい・盗難等」は50～60歳代で4割に近い。「通り魔」は20歳代で4割を超えて高く、「痴漢などの性犯罪」は20歳代と40歳代で4割に近い。

地域別では、「空き巣」は能見台・富岡西圏で9割を超え、この地域は「通り魔」と「痴漢などの性犯罪」でも3割台に乗っている。(図2-4)

<図2-4>性別/年齢別/地域別（上位6項目）



(2) 犯罪防衛の具体策

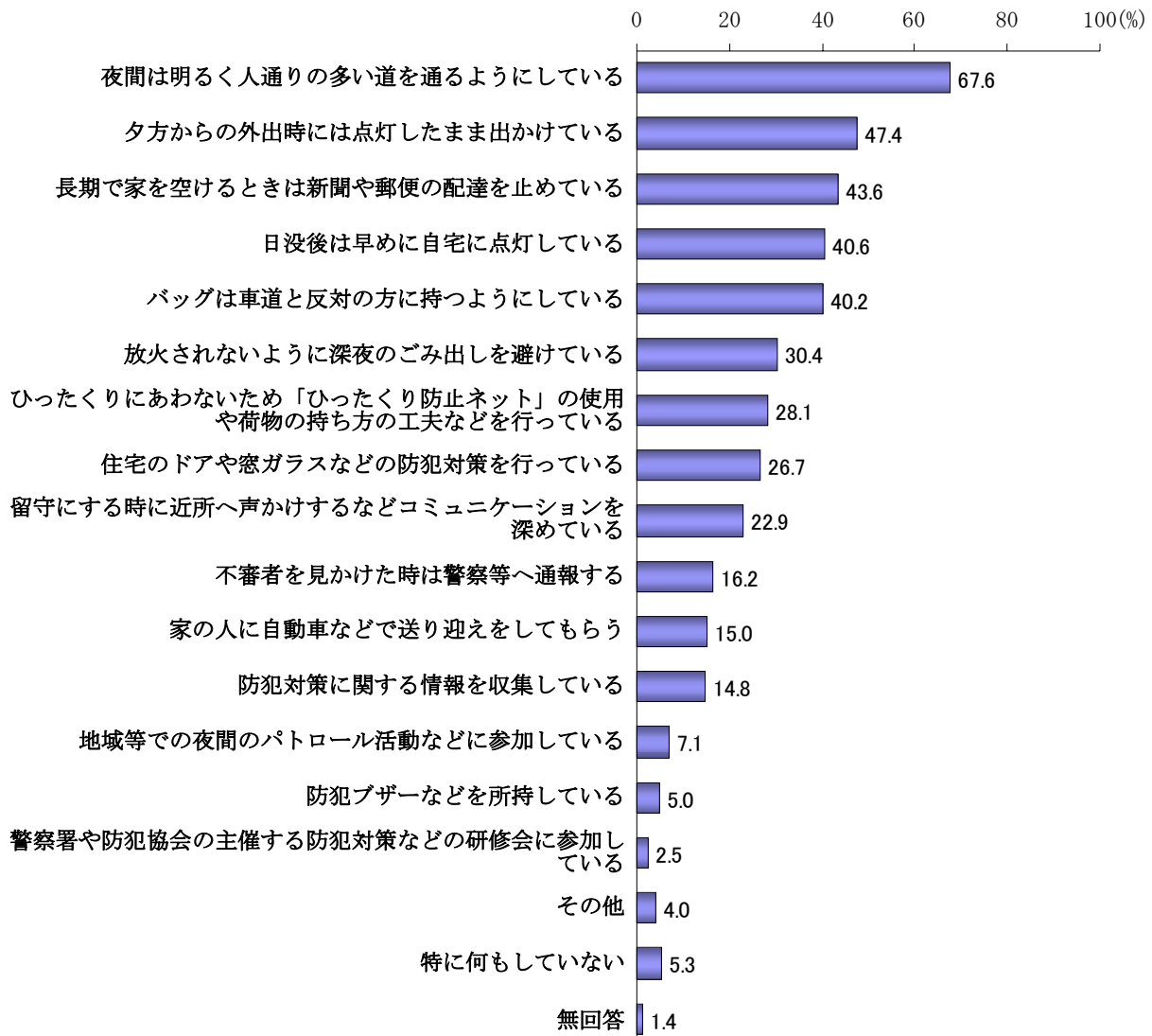
◇「夜は人通りの多い道を通る」が3人に2人、「夕方からの外出は点灯したまま」が5割弱

問6 あなたは、自分や家族を犯罪から守るために具体的にどのようなことを行っていますか。

(〇はいくつでも)

n = 1,864

<図2-5>全体



防衛策で最も多いのは「夜間は明るく人通りの多い道を通るようにしている」(67.6%)で3人に2人、次が「夕方からの外出時には点灯したまま出かけている」(47.4%)で半数に近い。これに続く「長期で家を空けるときは新聞や郵便の配達を止めている」(43.6%)と「日没後は早めに自宅に点灯している」(40.6%)、「バックは車道と反対の方に持つようにしている」(40.2%)の3つは4割を超えている。(図2-5)

□属性別比較

性別でみると、どの項目も女性の方が高いが、中でも「バックは車道と反対の方に持つようにしている」は30ポイントの差があり、「夜間は明るく人通りの多い道を通るようにしている」で21ポイント差、「夕方からの外出時には点灯したまま出かけている」で14ポイント差がある。

年齢別では、「夜間は明るく人通りの多い道を通るようにしている」は70歳代で4人に3人、「夜間は明るく人通りの多い道を通るようにしている」は50～60歳代で5割台半ばを超える。また、「長期で家を空けるときは新聞や郵便の配達を止めている」は40歳代で5割台半ば、「日没後は早めに自宅に点

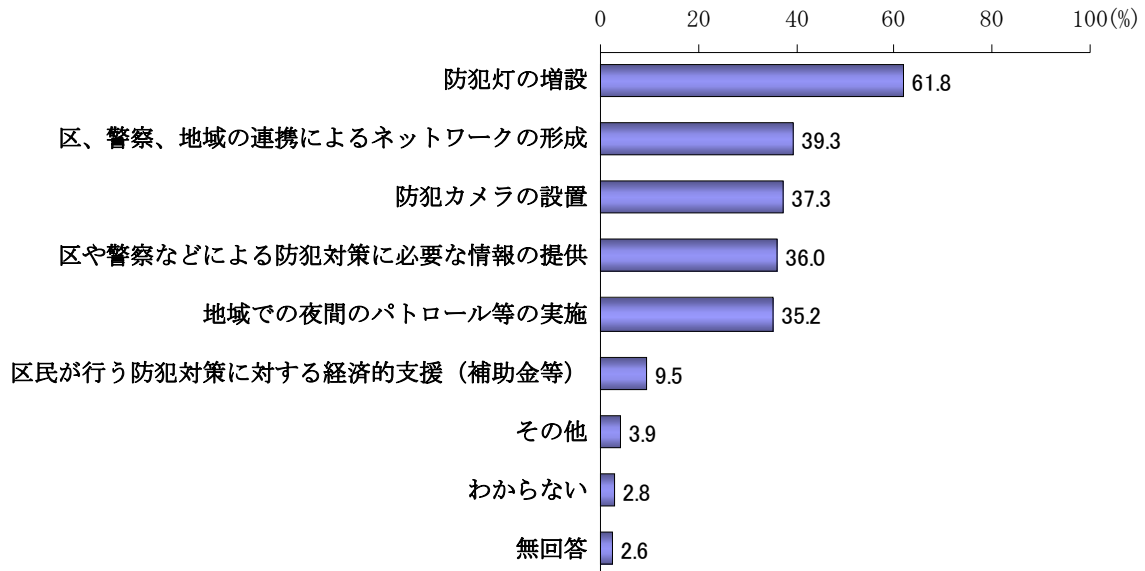
(3) 犯罪防衛に必要な対策

◇「防犯灯の増設」が6割強、「区、警察、地域の連携」がほぼ4割

問7 あなたは、自分や家族を犯罪から守るためには、どのような対策が必要だと思いますか。特に必要だと思うものを次の中から選んでください。(〇は3つまで)

n = 1,864

<図2-7>全体



防犯のために必要な対策としては、「防犯灯の増設」(61.8%)が6割を超えて高く、続く「区、警察、地域の連携によるネットワークの形成」(39.3%)がほぼ4割で、「防犯カメラの設置」(37.3%)と「区や警察などによる防犯対策に必要な情報の提供」(36.0%)、「地域での夜間のパトロール等の実施」(35.2%)の3つが3割台半ばを超えている。(図2-7)

□属性別比較

性別でみると、「区や警察などによる防犯対策に必要な情報の提供」は女性の方が7ポイント高く、「防犯カメラの設置」は男性が7ポイント上回っている。

年齢別でみると、「防犯灯の増設」は50～60歳代で7割に近く、「区、警察、地域の連携によるネットワークの形成」は30～40歳代で半数に近い。「区や警察などによる防犯対策に必要な情報の提供」は30歳代と60歳代で4割を超え、「地域での夜間のパトロール等の実施」は20歳代で4割を超える。

地域別では、「防犯カメラの設置」は能見台・富岡西圏で4割台に乗り、「地域での夜間のパトロール等の実施」は釜利谷圏で4割を超えている。(図2-8)

<図2-8>性別/年齢別/地域別（上位5項目）

